

高原莊だより 新春号

令和 8年 1月 1日発行
高岡郡津野町力石5082番地
津野山養護老人ホーム組合

高原莊

TEL 0889-62-2154



今年の年女の皆様です。

2026年は『丙午』。「丙午」には、『情熱と行動力で突き進む』『燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く』といった縁起の良さが表され、馬が駆け抜けるように、午年は変化と躍動、急速な進展が起こりやすい年とされます。午年の皆様の様に、今年は明るく前向きでエネルギーッシュに一年を元気に過ごしていきたいですね。



新年のご挨拶

高原莊施設長 西森正浩

十分な感染対策をとり、規模を縮めております。昨年ご利用者の皆さに喜んでいた「ふるさと訪も忘れられない貴重な時間となつも様々な行事を時期を見ながら計さまと一緒に続けていければと思つております。

本年もご利用者さまの意向を尊重し、安心安全なサービスが提供できるよう研鑽を積み職員一丸となり取り組んでまいります。皆さんにとつて良き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年、明けましておめでとうございます。皆さま方に
におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお
慶び申し上げます。旧年中は、ご利用者の皆さまやご
家族の皆さま、そして地域の皆さまの温かいご支援ご
協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年7月には新型コロナウイルス感染症によるクラ
スターが施設内で発生し、ご家族さま、関係機関の皆
さまには、大変なご心配をお掛けしたところです。

さて、昨年高知県は南海トラフ巨大地震が起きた場
合の最大震度を見直し津野町は最大震度7になりまし
た。全国各地で発生している地震、相次ぐ台風の襲来
や大雨、山林火災と甚大な被害が発生しております、被災
された方々には、心からお見舞いを申し上げます。幸
い高原荘におきましては、被害等ありませんでしたが、
近い将来発生が予測されている南海地震や自然災害時
における施設の安全対策、ご利用者の安全を確保する
ための取り組みは継続していかなければならぬと考

ふるさと訪問



今回は、お二人のご利用者のふるさと訪問をさせていただきました。偶然にも今回のお二人は、入所以来初めての自宅ということで、ご家族の皆様が素敵な笑顔で出迎えていただきました。

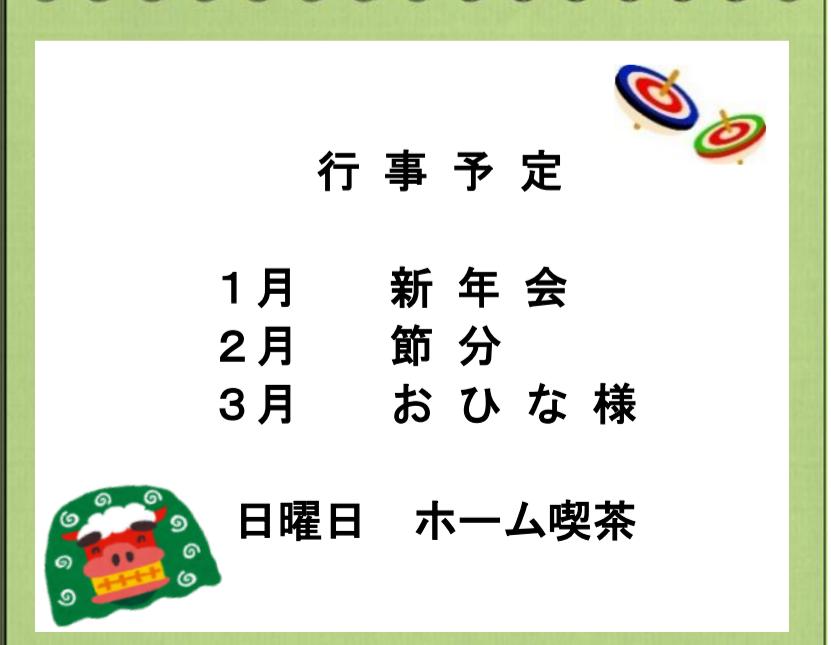


懐かしい我が家に、昔の記憶をたどり思い出話をしたり、普段見せない反応をするご利用者、終始笑顔の皆様の姿を見ることができ、同行したスタッフも幸せな気持ちになりました。感染症も落ち着き、ご利用者の皆様がご家族との触れ合える時間がさらに増えることを願っております。



11月12日(水)焼き芋の日

この日は、ご利用者の皆さんが楽しみにされている「焼き芋」の日。今年は、施設の中庭で職員が育てたさつま芋を使い、ご利用者の見守る中石焼き芋を作りました。蜜の沢山入ったホクホクの焼き芋に、ご利用者の皆さんもホクホク笑顔に。お皿に乗せられた焼き芋をすぐに完食され、おかわりが欲しいと言われるご利用の方もいらっしゃいました。





美味しい焼き芋に、素敵な笑顔を見せていただきました。



ディサービスご利用の方の中には、神楽の名手の方々が。毎週その方々による神楽の太鼓の素晴らしい音が鳴り響いております。

段ボールに穴をあけて
いきます。



ディサービス高原



ディサービスでは、職員が工夫を凝らし、リハビリを兼ねたゲームや工作、季節のおやつなども出ます。毎日ディサービスルームからは、楽し気な笑い声が聞こえてきております。



完成したツリーとご利用者の皆さんで記念撮影。

穴に。布をはめ込んで
いきます。



新聞紙で、ツリーの骨
組みつくります。



布をはめ込んだ段
ボールを貼り付けて
いきます。



愛の贈り物



令和7年10月30日～12月12日

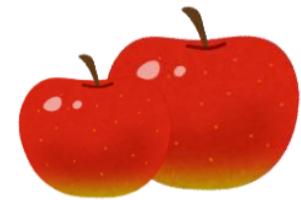
いつもありがとうございます

10月 上田 浩穂 様（北川）さつま芋

11月 高橋 定章 様（土佐町）米・野菜
永田 理恵 様（南国市）みかん・柿
上田 浩穂 様（北川）柚子
匿名 希望 様（——）柚子
匿名 希望 様（——）柚子

12月 山田 繁子 様（三重県）菓子

永田 里恵 様（南国市）米
又川 武好 様（高野）米ナス
上田 浩穂 様（北川）大根



高原荘福祉避難所 図上訓練



職員の取り組み



近年、日本各地で大地震が発生し、様々な被害が起きているニュースを目にします。南海トラフ地震が発生した場合、津野町でも震度7の揺れが想定されています。災害が発生した場合、地震の揺れや土砂崩れなどによる家屋の倒壊などの被害を受け、避難所に避難を余儀なくされる方々も出てきます。また、避難者の中には、高齢者、障害者など、一般避難所での生活には特別な配慮が要する方もおり、その方々（要配慮者）を受け入れる『福祉避難所』が必要となってくるため、高原荘では、津野町と協定を締結し災害時における『福祉避難所』運営を担っております。発災直後は、人的、物的な支援が不足する状況が想定されているため、発災前から関係機関との協力関係を構築し、福祉避難所の迅速、効果的な設置及び運営が出来るよう、今回、津野町介護福祉課が主となり津野町健康福祉課、高知県須崎福祉保健所、高知県危機管理防災課、高原荘での「福祉避難所 図上訓練」を行いました。

「土佐沖を震源とするマグニチュード9.0の南海トラフ地震が発生。津野町では、地震の揺れにより、広範囲で建物倒壊や土砂崩れなどが発生した。また、（町外）沿岸部では、津波の被害も発生し、広域避難により町外からの避難者も増えていく見通し。様々な災害が起き津野町は一般避難所を開設したが、一般避難所に要配慮者が居るため福祉避難所の開設を決定。」

このシナリオを基に高原荘での要配慮者の受け入れの対応や、気を付けておくべき点などの検討を行いました。今回参加していただいた関係機関の皆様に、適切なアドバイス等をいただき、とても勉強になる訓練となりました。この訓練を振り返り、職員内で共有していく、開設した際に自分たちがしっかりと対応できるように準備していきたいと思います。今回参加された関

『高原荘だより・新春号』をお届けします。
ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせ下さい。

広報委員会

